

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	たてしなっ子によるわが町のイトコ探し手書き地図ワークショップ
事業主体 (連絡先)	立科町 (北佐久郡立科町大字芦田 2532 番地、電話 0267-88-8416)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,191,520 円 (うち支援金 : 893,000 円)

事業内容

- 立科町オリジナル手書き地図キット、副本教材冊子作成業務
A4,16 ページ 500 部 (添付:取材メモ、白地図 3 種類、カット集)
 - ワークショップ開催 7月29日(土) (たてしな人権センター)
講師 手書き地図推進委員会 (株式会社ロケッコ)
参加者 小学校親子・町民協力者 計 20 名
- 町内の子どもたちが、自ら町の素晴らしいトコ・モノを、地元町民の案内とアドバイスも得ながら発見し、白地図に書き込むことにより、郷土の再発見をすることができる。親子と協力者が、町内数か所を一緒に歩きながら、気を引いたものを子供たちが記録していく作業を行い、次に参加した子どもが親子で地図に記入し、完成した地図はプロジェクターを使い発表した。完成した地図は持ち帰り、さらに書き足すことで地図を育てることもできる。



【手書き地図完成】

【目標・ねらい】

- 参加者の地域愛の醸成
- 子どもたちが訪ね歩き、町の素晴らしさに気が付く
- 夏休み体験教室の参加者増

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 普段通り過ぎている場所にも、面白いものや興味深い所があることに、子どもたちだけに限らず、一緒にワークショップに参加した保護者や一般町民も気が付くことができた。地域愛の醸成に役立ったと思われる。
- 子どもたちは意外と通学路以外の町内の道を歩くことが少ないことが分かった。参加者の子どもたちは、まだ町内には知らない場所がたくさんあり、素晴らしい場所があることに気が付いた様子だった。
- 夏休み体験教室の参加者……H27 134 名、H28 142 名、H29 134 名、対 H28 比 94%に減となったが、H27 並みは保つことができた。(別企画で大きく減少した。)

※自己評価 【 B 】

【理由】ワークショップへの参加者数が低調だったが、参加者からは、自分の暮らしている町の素敵なものに気が付くことができたという好評を得た。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この地図キットを、小学校等の地域学習用の教材や、信州型コミュニティスクールのプログラムの一つとして利用され、この事業を継続していくことで、手書き地図を介して子どもと地域が、より深い関わりを持てるようになる取組にしたい。また、手書き地図を完成させた立科町の子ども達が、作った地図を使い、都会の子ともたちに町を紹介できるような仕組みを構築したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある